

外国人留学生入学試験を受験する皆様へ

外国人留学生の方は、本文をよく読み、内容を理解した上で、出願してください。

【指導体制】

商学研究科では、外国人留学生入学試験に合格して、入学した学生について、効果的な教育を行うため、主指導教員および最大 2 名の副指導教員による複数指導制をとっています。

外国人留学生入学試験に合格した皆様には、研究計画書に書かれた研究テーマなどに基づき、入学時、主指導教員と副指導教員を仮に割り当てます。その際、少人数による効果的な教育を行うため、皆様の研究テーマを指導できる他の分野の教員を主指導教員とすることがあります。履修登録・修正期間終了までに、仮に割り当てた教員と相談し、本配属となる指導教員と副指導教員を決定します。

指導教員を指名したい場合は、一般入試を受験することもご検討ください。

【指導教員について】

指導教員に関する情報は、以下のページの「入試要項」デジタルパンフレットにある指導教員一覧を参照ください。 <https://www.komazawa-u.ac.jp/exam/graduate/>

【分野の紹介】

外国人留学生入学試験を受ける人は、出願書類の所定の欄に「希望する指導教員名」ではなく「希望する分野」を記入します。以下を参考にして、自分の研究テーマに合った分野を記入してください。

■ マーケティング・流通

商学は、商品やサービスが生産者から消費者に移り行く過程を研究する。このうち生産者が商品を生産し、販売者などを経て最終的に消費者へ商品を届けるまでの一連の流れである流通と顧客が真に求める商品やサービスを作り、その情報を届け、顧客がその価値を効果的に得られるようにするマーケティングを中心に研究する。具体的な研究テーマは、消費経済、マーケティング、流通などである。

■ 貿易・金融

商学は、商品やサービスが生産者から消費者に移り行く過程を研究する。このうち商品流通の円滑化に関わる金融や物流、保険や海外との取引を中心に研究する。具体的な研究テーマは、貿易、国際金融などである。

■ 経営・情報

経営学は、狭義には企業の経営（マネジメントと戦略）を、広義には組織一般の経営を研究対象とする。経営を経済的・技術的・人間的諸側面から理論的・実践的に研究する学問である。研究領域としては、経営管理論、(営利・非営利)組織論、企業論、地域経済論、国際経営論、経営情報システム論などがある。

■ 会計

会計学は、企業において作成・報告され、企業内部および企業外部で利用される会計情報と、それをめぐる社会的仕組(監査制度を含む)を研究対象とする。研究テーマとしては、財務会計論、管理会計論、監査論、原価計算論、国際会計論などがある。

注：このページは更新されることがあるので、出願時に再度確認してください。